

## 概要

### 平成16年度末バランスシート

#### 1 概観

平成16年度末の資産は約1,462億1百万円です。これに対して負債は約313億27百万円で資産の21.4%を占め、正味資産は約1,148億74百万円で資産の78.6%を占めています。

#### 2 資産

資産のうち、土地建物等の有形固定資産が約1,358億34百万円で92.9%を占め、基金・現金未収金等の有形固定資産以外が約103億68百万円で7.1%を占めています。

有形固定資産の内訳は、土地が約663億51百万円で48.8%、建物・設備等が約694億83百万円で51.2%です。建物・設備等の取得価額は約1,382億17百万円ですが、減価償却累計額を控除したため、現在の価額となったものです。なお、土地については減価償却をしないため、取得価額によっています。

有形固定資産を土地建物の合計額で行政目的別に見ると土木費が最も多く、約751億62百万円で全体の55.3%となっています。以下、教育費が約364億64百万円で26.8%、総務費が約147億94百万円で10.9%、消防費が約27億63百万円で2.0%の順になっています。また土木費の中では、道路が約276億4百万円、都市公園が約220億87百万円で、道路と都市公園で土木費全体の約66.1%を占めています。

#### 3 負債

負債の内訳は、固定負債が約292億70百万円で93.4%、流動負債が約20億57百万円で6.6%です。

固定負債は地方債（翌年度償還元金を除く）が約219億96百万円で75.1%、退職給与引当金が約72億74百万円で24.9%となっています。

流動負債は全額が地方債の翌年度償還元金の予定額です。

なお、当該年度の決算において、歳入が歳出に不足した場合において、翌年度の歳入を繰り上げて当該年度の歳入に充てる翌年度繰上充用金はありません。

#### 4 正味資産

正味資産は約1,148億74百万円です。構成は国庫支出金が約180億56百万円で15.7%、県支出金が約16億57百万円で1.5%、市税等の一般財源が約951億62百万円で82.8%となっています。

#### 5 欄外注記事項

債務負担行為に係る情報について、「物件の購入に係るもの」は約5億9百万円、「債務保証及び損失補償に係るもの」は約5億9百万円となっています。

## 平成15年度末バランスシートとの比較

### 1 概観

平成16年度末と平成15年度末を比較すると、3ページのようになります。

平成15年度末から平成16年度末にかけて資産は約8億39百万円の減少、負債は約65百万円の減少、また、正味資産は約7億74百万円減少しています。

### 2 資産の部

#### [有形固定資産]

##### (1) 土地

土地については減価償却をしないため、平成16年度中に取得した約21億31百万円（12,295㎡）が平成15年度末の資産より増加となります。

##### (2) 建物等

建物等については減価償却をします。平成16年度中に約13億83百万円の建物・設備等の整備をしましたが、同年度中に約42億30百万円の償却があったため、平成15年度末に比べ約28億47百万円減少しました。

なお、この整備費の中には、新たな施設整備だけではなく、既存施設の改修や大規模の修理等の施設・設備の効用を増すための資本的支出とみなされるもの、及び大型車両等の備品購入費も含まれています。

#### [投資等]

(1) 投資及び出資金の減は、中小企業振興公社及び学校建設公社清算によるものです。

(2) 貸付金の減は、地域改善対策事業貸付金の減によるものです。

(3) 特定目的基金の減は、駅周辺整備基金等の取り崩しを行ったため減額となったものです。

土地開発基金の増は、積み立てを行ったため増額となったものです。

(4) 退職手当組合積立金の増は、退職金実支給額の減少等によるものです。

#### [流動資産]

(1) 財政調整基金は、平成16年度中は約4億3百万円を取り崩しましたが、約3億11百万円を積み立てたので、約92百万円減少しました。

歳計現金には決算での歳入歳出差引額を計上しています。

(2) 未収金は決算における収入未済額を計上していますが、平成15年度末と比較すると減となっています。

### 3 負債の部

#### [ 固定負債 ]

##### (1) 地方債

新規借入れの抑制や、民間金融機関からの借入れの一部について繰上償還を実施したことにより、地方債残高が減少しました。

##### (2) 退職給与引当金

行政改革等の様々な取り組みの中で、職員数の増加は抑えているものの、市制施行後数年間に渡り、事務量の増加に対応するために多くの職員を採用しましたが、そうした職員の勤続年数の累積により退職給与額が増加したため、前年に引き続き増となっています。

#### [ 流動負債 ]

##### (1) 翌年度償還予定額

市債のうちの翌年度償還元金ですが、繰上償還の実施や低利率への借換え（県貸付金）により減少となりました。

### 4 正味資産の部

正味資産は将来に負担の残らない資金を、国と県と市税等で、それぞれがどのくらいの割合で負担をしているかを表しています。平成16年度末は平成15年度末と比較して約7億74百万円の正味資産が減少しました。

**1 国庫支出金** 平成15年度に比較して、普通建設事業及びそれに伴う国庫支出金が大幅に減少し、平成16年度中の減価償却額を差し引いた結果、約63百万円の減となりました。

**2 県支出金** 平成16年度中に実施した普通建設事業に、県補助金の充当事業が少なかったため、減価償却額が上回り約66百万円の減となりました。

**3 一般財源等** 平成16年度中に約7億74百万円の正味資産が減となりましたが、国庫支出金、県支出金以外の、市税等の一般財源を資金とした額は約6億44千万円の減となりました。